

平成 20 年度緊急時対応訓練について

1 第 1 回緊急時対応訓練の概要

第 1 回緊急時対応訓練として、緊急事態等におけるメディア対応講習会を実施した。

- (1) 実施日時：平成 20 年 12 月 2 日（火） 10：00～12：00
- (2) 演 題：緊急事態メディア対応を考える
- (3) 講 師：フジテレビジョン解説委員 箕輪幸人氏
- (4) 対 象 者：食品安全委員会委員及び事務局職員、専門委員(オブザーバー参加)
- (5) 概 要：

緊急事態におけるメディア対応、記者会見を行う場合の心構えや留意事項について知見を得た。

- ① 食品安全委員会としてメディアを通じて情報提供を行う場合は、科学的知見の専門家としての役割を認識し、難しいことをわかりやすく何度でも繰り返し説明することが必要。
- ② 国民にメッセージを伝える場であることを意識し、「伝えたいこと」、「伝えなくてはならないこと」を明確にする。
- ③ 専門家への信頼性は、「専門性への信頼」、「誠実性への信頼」から成り立つ。透明性を持つ（隠し事はしない）ことにより誠実性を高め、記者会見を信頼性確保の場として捉えることが大切である。

2 第 2 回緊急時対応訓練の内容

第 2 回緊急時対応訓練では、緊急事態に食品安全委員会が会見を行うことを想定した状況下で、様々な情報提供に必要な作業手順を確認し、課題や改善点の検証を行い、今後の食品安全委員会及び事務局の緊急事態に対する情報提供体制の強化を図る。

- (1) 実施日時：平成 21 年 3 月上旬
- (2) 内 容：

緊急事態における広報活動の具体的手順の確認及び模擬記者会見の実施

- ・ 委員による模擬記者会見
- ・ HP での情報提供（試験サーバーへの掲載）
- ・ 臨時メールマガジンの発行
- ・ プレスリリースの模擬実施（わかりやすい広報文の作成）

(3) 対象者

食品安全委員会委員及び事務局職員

専門委員（オブザーバー参加）

(4) 想定する緊急事態（案）

- ・ 輸入食品から高濃度の化学物質（例：汚染物質）が検出されたと海外から情報が入り、その後の調査により日本にも同じ食品が輸入されていることが判明する。
- ・ 健康影響に対する国民の不安の高まりを受け、食品安全委員会委員が専門家としての立場から、わかりやすく解説を行い、冷静な対応を求める。

(5) 訓練で留意すべきポイント

- ・ 想定される状況下での、国民へのメッセージはどうあるべきか。また、明確に伝えるためにどのような伝え方をすべきか。
- ・ 危害物質による健康への影響に対する考え方について、ADIやTDI等専門用語の説明も含め、わかりやすく解説するための工夫とは。